

ウエルハーネスだより

177号

理事長からの言葉

2月とは思えない暖かい日が続いています。もう春かなという感じがしますが、また寒さがぶり返すようです。これだけ気温差があると、体調管理に一苦労です。暖かいせいか花粉の飛び方も例年より多い気がします。花粉なのかコロナなのか、気になってしまいます。

緊急事態宣言は続いています、感染者数は減ってきました。もう少しで、解除になるのではと思います。皆様にはもう少しの間、ご協力のほどお願い申し上げます。

さて、ワクチンの接種がやっと始まりました。副作用の問題もあるようですが、一日も早く対象者全員がワクチンを打つことがコロナ禍の終結への道ではと思います。とは言え、管理方法や輸送方法、接種方法等クリアしなければならない課題は多いようです。最も大きな課題は、ワクチンの確保でしょうが。

当施設も、上尾市へご入居の皆様、働く職員の人数を報告しました。大まかな接種人数を把握したいとのこと。もちろん最終的には皆さんに接種するかしないかは確認をとってということになります。また、埼玉県から職員全員にPCR検査を実施するから人数を報告するようにとの連絡も来ました。いずれも3日から1週間くらいで報告しろとのことで、行政側も日々バタバタなんだなと思います。

ただ、ここで気になるのは、ワクチンの優先接種もPCR検査も対象となる職員が入所施設に限られるという点です。デイサービスや訪問介護、短期入所等の職員は対象になりません（入所施設と兼務している職員は対象）。なぜ、入所施設のみなのかというと、厚労省によれば、施設ではクラスターの恐れがあり、感染が広がっても事業を続ける必要がある。一方、在宅サービスは、介護者が感染しても人を変えればいいし、利用する施設を変えればいいということだそうです。

果たしてそれでよいのでしょうか。当施設のようにデイと併設の施設では、ワクチンを接種した職員と接種していない職員がいることになります。いくら施設内での接触の機会がないとは言え、少しでも感染のリスクを減らしたいのなら、同じ施設内で

上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL：048-782-0575
FAX：048-782-0590
令和3年2月24日発行



差があるのはいかがでしょうか。

さらに深刻なのは訪問介護です。皆さんご存知のように訪問介護の人手不足は、危機的状況です。さらに感染の不安から離職する人も増えていると聞きます。そんな状況下だからこそ、「ワクチンを打ったことで、少なからず安心する、介護を続けられる。」という声も上がっています。今年4月の介護報酬、訪問介護はわずか1単位しか上がりませんでした。特養・デイも似たようなものなのですが、ハードルは高いですが加算を算定できれば、それなりに上がります。訪問介護には算定すべき加算もありません。厚労省は訪問介護を切り捨てるのかという声が上がっています。加えて、ワクチン等の対象外、訪問介護に厳しい仕打ちです。在宅での介護を支える大事なサービスなのにこれでよいのでしょうか。

とにもかくにも、すべての介護に携わる職員を、ワクチン接種、PCR検査の対象者にしてもらいたいと切に願っています。介護を受けているすべての高齢者をコロナウイルスから守るために。

1～2月の行事

特養では、ユニット毎に節分レクで豆まきを行いました。また、誕生日会も行いました。

デイでは、鬼の口にボールを投げ入れ、数を競い合う節分ゲームをおこなったり、カレンダー作りやクイズもしました。また、おやつ工房でワッフル作りもしました。苺やクリームなどでデコレーションして召し上がりました。



2～3月の予定

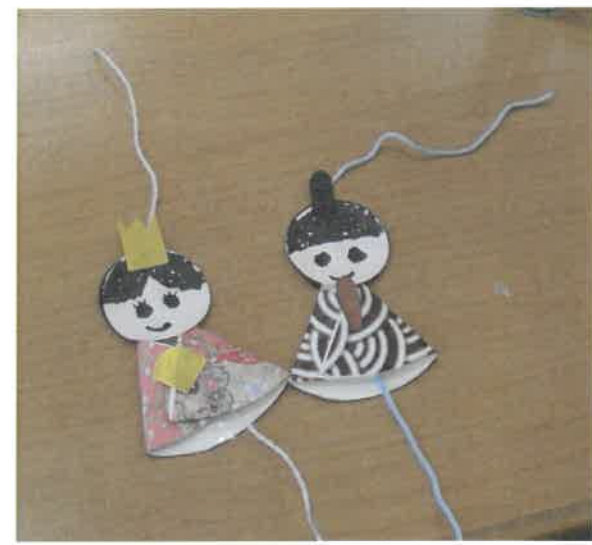
3/3(水)は、ひな祭りメニューとして「海鮮丼・すまし汁・菜の花の辛し和え・三色ババロアなど」、3/20(土)は、春分の日メニューとして「五目ちらし・すまし汁・天ぷら・ひじきの煮物・いちごゼリー」を召し上がって頂きます。

特養では、ひな祭りレクをユニット毎に計画しています。また、誕生日会も行います。

デイでは、ひな祭りゲームやしだれ桜作りの工作を予定しています。また、花かご小物入れ作りも行います。



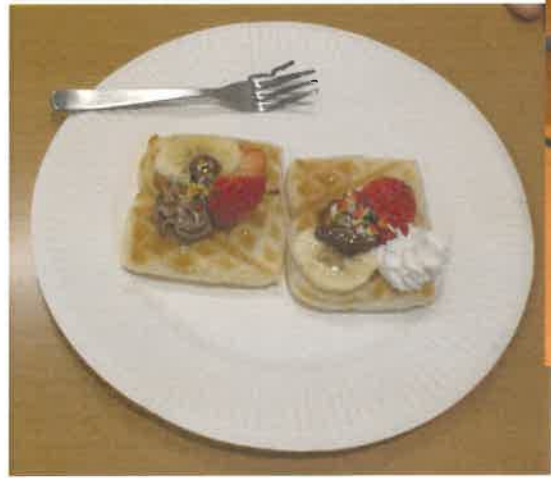
デイ
雛人形制作



節分メニュー



特養 節分レク



デイ
ワッフル作り



デイ 節分ゲーム



2021/ 2/